

# ひかりの丘



第95号

2014.3.20

社会福祉法人 いわき福音協会

福島整肢療護園

〒970-8001

福島県いわき市平上平塙字

古館1番地の2

TEL.0246-25-8131

FAX.0246-22-1259

<http://www.ryogoen.jp/>

E-mail.info@ryogoen.jp

## ひさとさん 成人式 おめでとう!!

2014年1月14日に、第3病棟で成人式を行いました。今年の対象者は1名でしたが、お祝いの言葉やプレゼントを贈り、ケーキを食べたりと入園者全員でお祝いをしました。



### 目次

地域の中の自立支援に関する取り組み	2~3	Happy通信	5
福島整肢療護園 中期計画検討委員会		ご存知ですか?	
提言について	4	~薬局 りょうご薬剤師のバトンタッチ~	6
重症心身障害プロフェッショナルナース育成		さようなら…治郎先生	6
研修報告	4		

# 地域の中の自立支援に関する取り組み

りょうご園では「医療をもって障害児者の療育と支援にあたり、地域の福祉に貢献します」との理念に基づく実践を行っています。

今回は地域の中の自立に関する二つの取り組みをご紹介します。



## BOYS BE AMBITIOUS!

今年3月に高校卒業＆卒園し、仙台で一人暮らしを始める坂本一磨さん。しっかりとした自分の意思を持ちながらも人の気持ちを吸い取る事が上手で、なにかと話題が豊富でムードメーカーな彼の「一人暮らし」への経緯や準備の様子などをご紹介します。

### プロフィール

名前：坂本一磨（18歳） 趣味：ゲーム、音楽鑑賞  
集中的に治療とリハビリを受けるため、8歳より入園生活を送ってきた。

### ②震災後【東日本大震災】

実家が避難指示区域になり、卒業後実家で暮らす事ができなくなった。結果、一人暮らししなくてはならなくなってしまった。父も、自分のやりたい事をやれと後押ししてくれた。

### ①中2の夏【宣言！】

夕暮れ時、野球をしながら担当OTと将来について話をしていた。そこに、所用で来園していた父と姉が登場。父に向かって、「俺一人暮らしするよ！」しかし父は…「できるわけねーべ」

### ③高3の冬【実現】

12月、書類審査と面接を受け、大手IT企業の特例会社に採用が内定する！  
1月、仙台の訪問介護事業者が併設されているアパートに入居契約。

## 一人暮らしに向けて～取り組み～

### ①洗濯

高校に入った頃より少しづつ自分の衣服は自分で洗うようにしてきた。干すのは困難なので一人暮らしではドラム型洗濯乾燥機が必要。



ご本人から一言

### ②調理

学校の選択授業で2年間料理を学び、園では卒業後の自己の栄養管理や自分に合った調理環境を、栄養士やOTと検討。



園内でも何度も料理にチャレンジ！

### ③住宅改修

トイレ、浴室、ベッドへの移乗など、自分の能力や車椅子生活に適した設定をOTと検討し、業者と交渉。



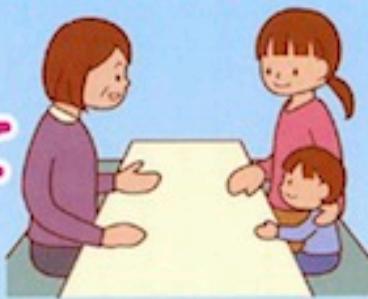
入浴台のイメージ

園での生活は10年と長い間でしたが、いろいろな人に支えられ、一人暮らしを実現することができました。園の皆さん、支えてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。



# いわき市障害児及び障害者 地域療育等支援事業について

当園では、いわき市から「いわき市障害児及び障害者地域療育等支援事業」の委託を受け、在宅で生活されている障害をお持ちの方々とそのご家族の暮らしの支援をしています。今回は、その内容についてご紹介いたします。



## ○対象は?

在宅で生活をされている、障がいをお持ちの方とそのご家族です。

当園を受診したことのない方の相談もお受けしています。

## ○どんな相談がありますか?

- ・子どもさんの発達や成長に関する相談
  - ・保育所、幼稚園、学校、事業所などでの関わり方の悩み
  - ・就学、就園、進路・進学に関する事柄
  - ・福祉制度の利用
- などなど内容に応じて、いわき市子育てサポートセンター、療育機関、相談支援事業所など、地域の相談機関もご紹介いたします。

## ○相談方法は?

来園と電話による相談のほか、当園スタッフがご自宅などに訪問したり、保育所・幼稚園・学校・事業所などを訪問する方法があります。

## ○担当するスタッフは?

当園の保育士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、管理栄養士、ケースワーカーなどがお受けいたします。

## ○費用は?

無料です。

お電話での相談も受け付けています。まずはお電話お待ちしています。

TEL.0246-25-8131(代) 8:00~17:00  
ケーズワーカーまで

## 保育士による訪問指導の様子

～短期間の入院による集中リハビリを行った幼児への支援～

障害児本人に対する支援、訪問先施設のスタッフに対する支援をします。

主に当園入院前後に對象の幼児が通っている保育所・幼稚園へ訪問。入院前に、保育園・幼稚園での生活の様子を知り、引き継いで出来ることは入院生活の場でも取り入れ、情緒の安定や身体機能、精神的自立の保持や成長に繋げていきます。

当園退院後の保育園・幼稚園で更により良い生活

が出来るように、保育園・幼稚園の先生と連携、話し合いの場を持ちます。当園のリハビリスタッフからの専門的なアドバイスを受け保育の場で取り入れやすい様に提案していきます。緊張が少ないリラックスできる抱き方、移動手段、身体に負担の少ない座り方、着脱の援助や食事の援助、遊び方など、お子さんの能力を最大限に生かせる援助の仕方を引き継ぎ、共に情報を共有し、育ちのお手伝いをしています。

「みんな違ってみんないい」一人ひとりの個性を大切にし、思いに寄り添い育ちを見守りながら保育に取り組んでいます。

キラキラ光る子供たちの可能性の芽を見つけ、大切に見守り、家庭、地域、全てで育てていきたいですね。



## 中期計画検討委員会 提言について

中期計画検討委員会委員長 吉原 康

2013年の6月に、数年後の療護園の未来を見据えて協議する「中期計画検討委員会」が発足しました。(現在は「病棟統合推進委員会」に移行。)

委員会のメンバーは現在の療護園の中核を担う11名と、法人本部からの1名の計12名で構成されました。また半年余り20回に渡って、時には紛糾しつつも、理想の療護園を目指して激論を開かせた結果として、より良い提言書が完成したとの自負しています。

病棟統合は現在二つある病棟を、文字通り一つにまとめ上げる事業です。

これには施設入所の患者さんの数が減少していることも関係しています。

が、今以上により良いサービスの向上を踏まえた上で効率化、合理化です。

現在は「病棟統合推進委員会」として、更なる具体化を検討中です。平成27年度に目標を見据え、新たな療護園を築き上げるためにの基礎としてこの委員会が発展していくよう、微力ながら私も引き続き関わらせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

## 第三病棟 看護師 志賀 美由紀

## 重症心身障害プロフェッショナルナース育成研修報告

H25年度から2年間、東京都で行われている本研修に参加させてもらっています。

日本重症児福連協会では、重症児看護を深め、療育の質を高めたいと願う看護師に、学びの機会を提供し、専門性を育んで欲しいと認定制度を作りました。

研修は多岐に渡るカリキュラムで構成され、施設制度の歴史から重症児(者)の概念、病態生理とその看護など現在学んでいる最中です。

他施設の方々と情報交換する機会も増え、講義以外でもとても充実した時間を送っています。

この学びをしっかりと園に還元し、重症児(者)看護の魅力を広く伝えていくよう、今後も努めていきたいと思います。

初めてに、療護園の診療部長である吉原康を委員長として、事務部長の松本裕一委員、事務部次長の片倉直美委員、副看護指導部長の大河原奈美子委員、看護部長の鈴木生央委員、リハビリテーション科長の相澤幸代委員、栄養科長の加藤すみ子委員、相談支援課長の時實祐志委員、事務主任の松本光司委員、主任作業療法士の柴崎正明委員、主任保育士の菅野克信委員、法人本部事業部長の本田隆光委員です。

提言内容は一言で言い尽くすこと



## 寄附者ご芳名

- 宗像光一 様
- 太田慶子 様
- 川村小夜子 様
- 渡辺コウ子 様
- 遠藤南科クリニック 様
- 太丸屋三延株 様
- 坂本正一郎 様
- いわきライオンズクラブ 様
- 広越肉店 様
- 衛猪狩電気工事 様
- 齊藤進 様
- 太誠産業株 様
- ヤマザキ製パン從業員組合松戸支部 様
- 清風幼稚園 様
- 札幌時計台ライオンズクラブ 様
- (順不同)



# Happy通信

## お化粧でルンルン♪

ご家族や入園者から、お化粧をした  
いとの要望があり、今回、病棟行事・小  
集団活動グループイベント「お化粧でルンル  
ン」を平成25年10月23日に企画をしました。対象者は、第  
1病棟から2名、第3病棟から5名、保護者の参加もあり  
ました。

いつもよりもオシャレな洋服(ワンピースやスカート)  
を身にまとい、テーブルに並んだウィック・カチューシャ・  
髪飾り・ファンデーション・チーク・口紅・アイシャドウなど、どの色が似合うかな?何を髪に飾ろう?と睡をキラキラ



今回のハッピー通信は、オシャレを楽し  
んだ小集団活動からのハッピー、みんな  
で楽しんだクリスマスのハッピー、しげゆ  
きさんとお父さんのお心温まるハッピーを  
ご紹介します。

ラしていた入園者が印象的でした。普段しないお化粧を  
し笑顔も見られれば緊張してしまう入園者も見られ、周  
りの職員から褒められると、より喜ぶ姿があり、ご家族からも「楽し  
む事が出来た」との意見が聞かれました。

最後に、モデルになりきり写真撮影。「はいボ  
ーズ!!」



## クリスマス祝会

2013年12月13日(土)、  
りょうご園恒例のクリスマス祝会を開催しました。  
今回は職員と入園者のか、ご家族(13組)の参加  
もあり、いつもとは一味違う雰囲気の中でのクリスマス祝会になりました。

スタートからパワー全開の仮装お出迎え!  
~「日本一楽天の田中投手」(渡邊園長)、「じえじえじえ…  
あまちゃん」(相澤リハ科長)、「倍返し…半沢直樹」(鈴木  
看護師長)~



そして、厳粛な中でのキャンドルライトサービスと絶勢  
44名のゴスペル隊による豪快な讃美歌披露。

昼食はどこにも負けないりょうご園自慢の愛情こもっ

た手作りお弁当。見た目も味も最高でした。

おもしろおかしかった「ラジオDJ」、サンタが登場して  
プレゼントを貰った「ひっぱってHappiness」、新人8名の  
衣装も踊りも素晴らしかった「五穀豊穣:沖縄エイサー智  
恵子バージョン」(当園保育士、沖縄出身の徳里智恵子さん  
の企画、演出)と最初から最後まで盛り沢山の企画・内  
容で、参加者全員を巻き込み、楽しむことができたと思  
います。

今後もりょうご園行事委員会では入園者やその  
ご家族、職員を巻き込み、さらに“たのしい”イベン  
トを皆で創り上げていきたいと思います。次回をお  
楽しみに!



## はるか異国の洋上から

「デンボウで～す受け取りお願ひします」

郵便屋さんから電報を受け取るのが、ここ数年の元旦  
勤務お決まりの日課となりつつあります。

嬉しいとも違うしかしながら心地いい感じ、決して私宛  
に届いた電報ではないのですが、心がほっこりとする瞬  
間でもあります。

送り主は入園者しげゆきさんのお父さん。

<文面>

ムセンオイワイ

○○ シゲユキ様

「新年オメデトウ カラダニキヲツケテガンバレ」 チチ  
ダイ!○〇〇〇マル〇〇ムセン

しげゆきさんのお父さんは仕事で漁船に乗り、はるか

異国南の洋上にいます。一度出航したら数ヶ月は戻れず、  
愛しい息子さんに会えるのは、年数回あるかないか…。

「チチの慈愛の深さ」に触れ、電報が届くシチュエーシ  
ョンになのか何なのか勝手に目頭が熱くなります。しげ  
ゆきさんもきっとお父さんを、このりょうご園から思って  
いる事でしょう。



届いた電報は保育士が可愛い台紙に貼り、しげゆきさん  
のベッドに飾ってくれています。



# ご存知ですか? ~薬局りょうご園薬剤師のバトンタッチ~

りょうご園内薬局の顔として約30年の間、入園者、外来患者さん、ときには職員までお薬を調剤して頂きました主任薬剤師の谷山さんが惜しまれながらの退職となります。歌はプロ級、踊りは上級「生涯現役」?と思われた方もいらっしゃると思いますが、3月で後任の高橋さんにバトンタッチをして思い出多きりょうご園を後にします。前任の谷山さん、後任の高橋さんそれぞれに今までの思い出、今後の抱負を伺いました。

## <谷山さん>

りょうご園は笑いの絶えない楽しい職場でした。患者さん、職場の皆様から感謝と愛情をいただきました。昔は外来の患者さんは少なく、入院のお子様と運動会やバザー等で交流を深めました。今は外来の患者さんで溢れています。また、りょうご園には、たくさんの木花があり、春の桜をはじめ、四季折々の花々を見ることができます。今年は雪もみられ、春が待ち遠しく感じます。

皆様のおかげで、無事定年を迎えたことに感謝しています。後任の薬剤師に短い時間でしたが、スムーズに引き継げたことに安堵しています。長い間、ありがとうございました。

## <高橋さん>

待合室におもちゃが増え、患者さんが楽しそうに遊んでいる姿を見ると喜びに感じます。

これからも笑いの絶えない楽しい職場を続けていきたいと思います。



谷山さん(左)と高橋さん(右)のツーショット

## さようなら… 治郎先生

去る平成25年11月12日に、法人の名誉理事長であり、療護園の元園長であられた済治郎先生が召天されました。

お亡くなりになる直前まで礼拝やお買い物にお出かけになられていたそうで、突然の訃報に皆が涙しました。

これまで長きに渡り療護園に幸せを与えて下さった治郎先生。どうもありがとうございました。ご冥福をお祈り致します。



## 編集後記

太陽のでている時間が少しずつ長くなり、帰りの道も徐々に暗がりが少なくなってきた。気温も暖かくなってきており、春の訪れを感じます。

生きて来た年の数だけ春を体験してきて、その中に沢山の出会いがあったなど、最近ふと自分

の人生を振り返った時に思うことがありました。

現在の自分を考える上で、これまでの出会いと別れはかかせないものだと感傷を覚えつつ、また同じ季節が来て歳を重ねるのを感じます。

寒さも少しずつ和らぎ、外出するのも億劫ではなくなってきたので、季節の花々などを眺めに外出などしてみてはいかがでしょうか。(山)

## スタッフ 募集中



当園では現在、明るく元気なスタッフを求めております。心身に障がいのある方をお世話する仕事にやり甲斐や興味をお持ちの方を歓迎します。

●看護師 …若干名  
(正職員)

●介護スタッフ …若干名  
(パート)

●看護助手 …若干名  
(パート)

委細面談。  
お気軽にお問合せください。

■お問合せ先  
TEL.0246-25-8131  
(担当 事務部長 松本)